

令和6年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和5年度				
事業番号	17	事業名	防災士育成促進事業 (大事業名) 防災事業		担当課		安心安全課				
					予算区分（款-項-目-中事業）		2-1-14-6 防災士育成促進事業				
					決算書ページ		77 ~ 一般				
I 基本情報	総合計画	基本目標	4	誰もがいきいきと安心して暮らせるまち		事業開始の背景	「まちは自分で守る」という意識の醸成及び地域防災力の向上を図るため、防災士の育成を促進するための助成事業を開始した。				
		政策	1	住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくり							
		施策	(2)	地域と一体となった防災力の向上							
						市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可			
	その他	開始年度		平成29年度							
		終了予定年度		☐ 年度 ☒ 未定							
		根拠法令等									
		関連計画			長久手市地域防災計画、長久手市防災士資格取得費助成事業実施要綱						
	事業の概要・目的	アウトプット（詳細はⅡへ）					アウトカム（詳細はⅢへ）				
		①事業概要 (どんな取組を行うのか)			②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)			④最終成果 (大事業の将来像)	
【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 132人 【事業内容】 地域防災を担う人材育成のため、防災士資格取得費用の助成を行うことで資格取得を促進します。			...▶ 【アクションプラン指標】 防災士資格取得の助成件数 【単年】 【その他の指標】 防災講習会等で講師を務めた市内防災士等の人数		▶ 防災士資格取得者が増え、市民である防災士等が、市民に対して防災講習を行うことで、「まちは自分で守る」という意識の醸成に繋がり、地域防災力が向上する。 (成果指標名) 防災講習会等で講師を務めた市内防災士等の人数			▶ 大 事 業 共 通 防災士の育成促進、備蓄食料品や防災資機材の購入、防災資機材の点検・整備を行い、市としての防災力の向上を図る。			

II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2018年） 目標値（2023年） ※AP指標のみ		区分	R5(2023) 年度	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度		
		1	【アクションプラン事業】 防災士資格取得の助成件数	件	基準値	3	見込	12	5	5	5	5		
					目標値	15	実績	5						
		2	【その他指標】 防災講習会等で講師を務めた市内防災士等の人数	人	基準値	-	見込	48	48	48	48	48		
					目標値	-	実績	46						
		3			基準値		見込							
					目標値		実績							
		4			基準値		見込							
					目標値		実績							
		事業開始からの経緯												
		自治会等からの防災講習会の申込に対し、以前は市職員で対応していたが、令和2年度より、市内防災士等からなる団体に講師を務めてもらうことで、防災士等の活動の場となるとともに、市民が市民に対して講習する形となるため、「まちは自分で守る」という意識の醸成に繋がることとなった。												
		R5(2023)年度の実績、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由												
令和5年度は市内防災士等が講師を務める防災講習会を実施した数は、令和4年度に比べ2回多い18回（月平均約1.5回）となった。														

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標										
		市内防災士等が講師を務めた防災講習会等の実施回数		回	R3 年度		R4 年度		【現状】 R5 年度		R6 年度		R7 年度		
					5		16		18		16		16		
		成果達成状況					指標目標値の根拠								
		B	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている					R2年度から本事業を実施しているが、コロナ禍の影響もあり、R2年度は3回、R3年度は5回の実施にとどまっていたが、コロナ禍が終了したR4年度は、16回実施したことからこの回数（1回につき3人を基準）を指標目標値として設定した。							
	評価の理由、分析														
	令和4年度に市内防災士等が講師を務めた防災講習会等の実施回数16回（月に1回以上実施）を成果指標とし、令和5年度は成果指標を超える18回実施し、市民が市民に対し講習会を行うことで「まちは自分で守る」という意識の醸成につながったから。														
	加える変化（ACTION）	今後の方向性（3年～5年先）		今後の方向性の理由											
		A	A. 現状維持 B. 拡充 C. 縮小 D. 廃止		市内防災士等に今後も積極的に講師を務めてもらうことで、市民の防災力向上や「まちは自分で守る」という意識を醸成していく。また、講師である市内防災士等がスキルアップを図ることができるよう、市から防災情報を提供したり、講座や研修等を紹介したりしていく。										
		改善ポイント ※今後の方向性がAの場合は記入不要 (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)													
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度				
1			☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止												

IV 費用	令和7年度予算の方向性（PLAN）	R7年度の費用（R6年度比）		3年間の推移	(単位：千円)	R6(2024)年度	R5(2023)年度		R4(2022)年度		
		B	A. 現状維持 B. 拡充		事業費	予算	予算	決算	予算	決算	
			C. 縮小 D. 廃止			70	168	67	168	14	
		理由			特定財源	合計額					
		今後も市内防災士等に講師を務めてもらうことで、市民の防災力向上や「まちは自分で守る」という意識を醸成していくため事業を継続していく。				(内 国費)					
						(内 県費)					
						(内 諸収入)					
						(内 その他)					
		積算額			一般財源		70	168	67	168	14
		未定			R6年度予算の内訳 <細々節名、 予算額、（R5年度予算額）>						
防災士資格取得助成補助金 7 0 千円（1 6 8 千円）											